

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 27年3月 27 日  
東京電力株式会社

## <1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (3/27 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h	15.6	3.8 kPa g	A系： 0.01 vol%
		給水系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.01 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h	21.5	5.70 kPa g	A系： 0.10 vol%
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.07 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h	18.7	0.20 kPa g	A系： 0.09 vol%
		給水系：約 1.8 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.08 vol%

【5号機】・原子炉冷却材浄化系(以下「CUW」)ポンプ(A)については、原子炉水の浄化及び原子炉水位の調整のため、H26/11/6 13:47頃より運転していたが、H26/11/13 15:19 に過負荷トリップが発生。その後、現場を確認したが、漏えい等の異常は確認されていない。なお、原子炉の冷却は残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)にて行っており、原子炉冷却への影響はない。その後、点検における外観目視の結果、CUWポンプ(A)のスラスト軸受にクラッド等を噛み込んだと思われる摺動痕を確認。このことから、スラスト軸受にクラッド等が混入したことにより、スラスト軸受の摺動抵抗が増加し、ポンプ運転時の電流が増加したため、過負荷トリップに至ったものと推定。今後、スラスト軸受の交換を行い、CUWポンプ(A)を復旧予定。

## <2. 使用済燃料プールの状況> (3/27 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	14.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	28.9 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	23.1 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	9.2 °C

※ 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘイドラジンの注入を適宜実施。

## <3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元	→	移送先	移送状況
1号機	1号機 タービン建屋	→	1号機廃棄物処理建屋	3/26 9:21 ~ 移送実施中
2号機	2号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	3/26 10:14 ~ 移送実施中

## 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (3/27 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設 備(ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	運転中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運 転	水バランスを みて断続運 転	ホット試験中*2	ホット試験中*2	ホット試験中*2

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

\*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

## <5. その他>

- H27/2/5 ~ 3号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。
- H27/2/14~ 4号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。
- H27/2/24~ 2号機海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を開始。
- H26/6/2~ 陸側遮水壁工事を開始。
- H27/3/16~ 1号機原子炉建屋カバー解体工事に向けて準備工事を開始。

### 【地下水バイパス揚水井の状況】

- 地下水バイパス揚水井 No.1~12 のサンプリングを継続実施中。

### 【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

#### <H4エリア周辺のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### <福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### <H6エリア周辺のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

### 【タービン建屋東側の地下水調査／対策工事の実施状況】

#### <地下水観測孔サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

### 【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

#### <地下貯水槽サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上